

## ～模擬体験学習 海のゴミについて考える～

### 島根県立松江農林高等学校の郊外授業に『しまね環境アドバイザー』を派遣しました！

環境教育を通じた地域への社会貢献を行うことを目的として、環境事業部ではしまね環境アドバイザーを派遣し、専門的機関として協力しています。

今年度は島根県立農林高等学校総合学科 2 年の郊外授業で、環境事業推進課戸田係長が「模擬体験学習 海のゴミについて考える」を実施しました。

松江市鹿島町 古浦の砂浜にはどんなゴミがあるのか？  
種類と量に着目して観察しました。



『アクティビティのタイトル』と『海のゴミ問題と自分たち  
にできること』を考えて、グループで発表しました。



海のゴミ問題の調べ方を戸田係長が解説しました。



ゴミの入った水槽の海を眺めながら、生き物はどうして  
ゴミを間違えて食べてしまうのか？想像をふくらま  
せて考えました。

#### ◆グループで考えた『アクティビティのタイトル』と『海のゴミ問題と自分たちにできること』

- A班「きれいな海で泳ぎたい！」キラキラしておいしそうなエサ（クラゲ）に見える。
- B班「海のゴミ」ゴミを捨てない、少なくすることが大切。
- C班「海が悲しんでいる」日用品を必要以上に買わない。魚や水生動物の気持ちを理解する。

## 今後も環境教育を通じて社会に貢献していきます！

ご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

公益財団法人島根県環境保健公社 環境事業部 0852-24-0207